



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2012年6月No.361

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2011~2012)	クラブ役員 Officers
センテナルクラブ会長 : 『TEAM-共にさらなる目標を目指そう!』 東京セントラルクラブ会長 : 『ひとつとなつてYMCAへ』 国際会長 : 『とにかくやろう-成せば成る』 アジア地域会長 : 『信念をもって使命を果たそう』 西日本区理事 : 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』 中西部部長 : 『であいで愛』	会 長 : 谷川 寛 副会長 : 岡本 剛介 書 記 : 石津 雅人 会 計 : 藤原 正巳 メネット会長 : 谷川 有美子 Y連絡職員 : 鍛治田 千文

Biblical Message of June

だから、明日のことまで思い悩むな、明日のことは明日自
 らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。

(マタイによる福音書6章34)

June Club Meeting

『評価・計画』

6月第1例会

日時：2012年6月20日(水) 18:45~20:45

場所：ホテルグランヴィア大阪21階

司会：石津 雅人 君

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1.開会 | 谷川 寛 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.聖句朗読 | 大村 肇 君 |
| 4.今月の強調活動 | 谷川 寛 会長 |
| 5.ゲスト紹介 | 谷川 寛 会長 |
| 6.晩餐 | 一 同 |
| 7.卓話「アフリカの風~
コートジボアールから」 | 園田 和子 さん |

8.連絡・報告・ニュース 各メンバーから

9.誕生祝い・ニコニコ献金 一 同

10.閉会点鐘 谷川 寛 会長

6月第2例会

日時：2012年6月27日(水) 18:30~20:30

場所：土佐堀YMCA会館4階

お誕生日： 新保メネット(28日)

例会担当

3班：石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

金環日食万歳!?

芝田 光雄

どれ程の人々が天を仰ぎ歓声を上げたでしょう。
 予てより文才なく、投稿依頼をお受けする度に神経をすり
 へらし、産みの苦しみを味わっていた私が当月この蘭を担当
 させて頂くに当たりこの話題しかない、瞬間太陽より少し
 小さい”お月様”にありがとう”の気持ちです。

各メディアが早々にこぞって特集を組み、エキサイティン
 グなこのニュースが賑やかで期待感をあおられました。と同
 時に観察にあたり、日食メガネ必須の注意喚起が促されたに
 もかかわらず残念ながら後日、日食網膜症患者が80名余り
 出たと日本眼科学会から報告されました。

平安時代以来、実に932年振りの世紀の日本列島天体シ
 ョー! ゆっくりと雲の切れ目から美しい金環が現れた時、大
 自然のメカニズム・神秘!を感じずにはいられませんでし
 た。7時半前後東北大震災各被災地でも、ゴールドの環が照
 らし出されたとの報道。宇宙が少しでも感動と勇気の後押し
 をしてくれたのでは・・・。その翌22日東京スカイツリー
 開業がにぎにぎしく取り上げられ、又一つ歴史を彩る出来事
 ですが、何故か東北大震災の当時の映像と陰が脳裏をよこぎ
 ったのは私だけだったでしょうか!?

(今回は岡本剛介さんです)

【クラブ統計 Statistics】

12年5月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ/じゃら献金
在籍会員 23名	メ ン	17名	12名	5月 100g	5月: 20,000円
例会出席 17名	メネット	8名	0名	現 金 0円	
うちメキャップ	ビジター	3名	0名	累 計	累 計: 167,893円
0名	ゲ ス ト	0名	0名	切 手 1,412g	
出席率 73.9%	合 計	28名	12名	現 金 0円	

5月第2例会

と き：5月23日(水) 18:30~20:00
ところ：大阪YMCA土佐堀会館 406号
出席者：石津、井上、大村、岡本、芝田、谷川、中村^茂、藤原、松田、三浦、山田、山中の各メン

協議内容

- ・8月1日(水)、表コミ・茶会=今後メネットの仕事として位置つける。
- ・6/3Kick-offミーティング打合せ
- ・30周年記念事業 表コミに電子黒板寄贈案。
- ・PRのため他クラブ訪問。チラシの作成(松田)
- ・当クラブのフラッグを新調する件

この聖句は、玉岡かおる著の「負けんときーヴォーリス満喜子の種まく日々」の本の中に紹介されたヴォーリスの愛唱句です。どれだけ迫害されようとたった一人になっても負けなかった男が言うのである。いつか扉は開かれる。そんな日が来る事を今は待つしかないのかも知れない。やがて自らにできることがあればすべてやろう。彼が、近江八幡の地に米国からたった一人であって伝道活動をし、その間いろいろ苦勞しながら近江の地に種をまいた。

聖句選/コメント：大村 肇

(次回は、鍛冶田千文さんです)

5月第1例会

と き：5月16日(水) 18:45~20:45
ところ：ホテルグランヴィア大阪 21階

過ごしやすい季節となった5月例会は、ビジターを含め28名が集い、谷川寛会長の点鐘で始まりました。今日のメインスピーチは、中村隆幸メン=写真=による「腎臓移植」のお話。

私たちの記憶に残っているのは、1968年、テレビや新聞で話題になった札幌医大外科チームによる死体心臓移植。わが国の臓器移植は、1997年「臓器移植に関する法律」が施行されて以来、腎移植は年々増える傾向にあるが、それでもまだ年間1,300人しか手術ができていないのが実情のようです。生体腎移植では、献腎移植に比べ計画的に手術が行える半面、健康体に傷をつけるため、ドナーには周囲からの大変なプレッシャーがあるようです。普段ではなかなか聞けない医学の話に自身の健康にも重ね、メンバーたちは熱心に聞き入っていました。

東京に転勤になった大畑メンが顔を見せ、ビジターの小金丸さんを紹介。また土佐堀の運営委員の奥田時夫メンから、目標200万円を超えるクリスマス献金が集まったという報告がありました。

(中村茂高)



≡ Club Activities (May, 2012) ≡

On May 16, our club's May meeting was held at the Hotel Granvia Osaka with a total of 28 Y's men, Y's menettes and guests in attendance.

We were all happy to see Mr. Shinji Ohata again. He left us this last April due to his transfer to Tokyo. With its emphasis on the "Leadership Training" this month, Mr. Gousuke Okamoto outlined the meaning and purpose of the program.

The highlight that evening was a speech given by Dr. Takayuki Nakamura, our club member. He is urologist and his topic was about the "kidney transplantation." Starting with the reason why kidney transplantation is required, he updated us the information and other relevant medical treatments required for kidney disease patients, using plain terms.

What he told us was so useful in our daily life, many questions followed even after the meeting. Yen 20,000 was collected for our club's niko-niko (smiling) fund.

Kick of Meeting



民を導いたモーゼ像の前で、当クラブの未来像図を囲んで

6月3日、来期の運営方針などを決めるキックオフミーティングを六甲山YMCAで行いました。正午前には17名が到着。昼食後、午前12時半から、岡本剛介次期会長の進行のもとで会議が開かれました。会議は、今期のふり返りから来期の方針、目標が次期会長、各委員から述べられ、休憩をはさんで30周年記念例会について話し合われました。最後は岡本次期会長の案で、「みんなの大阪センテニアルクラブの理想の未来像」とし、各自それぞれの思いを付箋につづり、模造紙に貼りました。

次期書記の山中秀男メンが読み上げた夢の一部を披露すると、「海外との積極的交流」「在宅メンバー」「遠くの親戚より近きのセンテニアル」「大阪が一番楽しいクラブ」「会員30人」「なんでもスルテニアル」など、ユーモアたっぷりの表現に、皆も大笑い。若手の強いリーダーシップが示され、当クラブの明るい未来を予感させる会議の内容でした。

その後、昨年に続き新保正秋メンの案内で、落語家・桂吉弥さんがかつてアルバイトをしていた阪急六甲駅の近くのピザレストランで、さらに懇親を深めました。 (中村 茂高)



真剣なミーティングの様子

YMCA ニュース

☆6/2に会員大会が開催されました。大阪YMCAは全国のYMCAに先駆け、新公益法人への移行に取組、昨年4月には内閣府の認可を受けて、財団法人大阪キリスト教青年会から公益財団法人大阪YMCAに移行し、1年が経過しました。新法人への移行手続きは完了しましたが、YMCAの会員制度や活動のあり方について審議し、新たな会員(Yボランティア)要綱、大阪キリスト教青年会会則が承認されました。

☆実践的英語教育校に選ばれました。大阪府では平成23年度より、大阪の高校生および高等専修学校生の英語によるコミュニケーション能力を向上させるために「TOEFL iBT」を活用し、これまでの受験英語とは違う実践的な英語教育を行う学校を支援する「実践的英語教育」強化事業を実施しています。この事業は、学校規模に応じた人数で生徒選抜チームを作り、難度の高い「TOEFL iBT」の平均スコアを競うものであるため、大阪府内の全国・公立、私立全日制高校、専修学校高等課程約280校の中から参加したのはわずか8校のみ！しかも、参加8校中、基準点をクリアして「支援校」に指定されたのはなんと4校のみです。HIS(大阪YMCA国際専門学校国際学科)はその4校の中に入り、事業サポートを受けられことが決まりました！！大阪府HP 報道発表ページをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageid=9657>

(鍛治田千文)

B F 報告

岡本(40g)、山田、藤原、新保(各20g) 合計100g



皆が書きこんだ未来像図を読み上げる山中メン



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ビジターからのメッセージ》

○腎臓の話は初めて聞きました。気をつけなければと思います。

(土佐堀クラブ・奥田時夫)

○久しぶりに大阪センテニアルに参加させて頂き、有難うございました。また、大阪出張、その他帰阪の際にはよろしくお願ひ致します。

(大畑 慎治)

《会員、メネットからのメッセージ》

○腎臓移植を受けなくてよい健康な体で生活していきたいものです。今現在健康で元気に生活できていることに感謝です。

(石津 雅人)

○分かりやすい移植のお話、有難うございました。病気になりにたくないなと思いながら拝聴しました。

(井上 文輔)

○健康であることに感謝。当たり前であることを幸せに思い、卓話を聞かせて頂きました。

(岡本 剛介)

○先日スコーン作りを教えてくださいました。翌日復習のため自宅で作ってみました。まだまだ練習が必要です。

(岡本 麗香)

○興味深いお話でした。もっともっと聞きたいです。みんなの悩み(健康)相談をして頂けたらと思いました。

(鍛治田 千文)

○再生医療のこと、よくわかりました。

(坂本 哲朗)

○DR.中村の腎臓移植のお話は大変勉強になりました。私は今、健康であることに大変感謝します。この健康体を保てるように、これからはもっと自分自身の体のことを大切に思うようにしたいと思いました。

(坂本 千春)

○バンドメンバーの一人が肺炎と尿路感染他でICUに10日間入ったままです。健康は命より先に大事ですね！ 今日の中村先生の腎臓の色々のご説明をお聞きし、大変勉強になりました。

(芝田 光雄)

○中村先生のお話を伺い、健康であることの大切さを痛感しました。食生活も気をつけたいと思います。

先月は仙台空港から車で海岸線を北上し、南三陸志津川まで行きました。一面続く更地、大きながれきの山等々、復興の大変さを思いました。

(隅田 恵子)

○5月例会も多くの会員、ゲストの参加があり、楽しい例会でした。中村ワイズの話、大変参考になりました。

(谷川 寛)

○普段あまり関心のない腎臓移植についてのお話を、我がY'sメンの医師、ドクター中村から伺う機会を得ました。感謝です。腎臓病にならない様に食事にも気を付けて過ごしたいと思ひます。

(谷川有美子)

○坂本さん宅のメネット会は有意義でした。感謝しています。

(中村 幸枝)

○今日も例会に出席できたことを感謝します。めったに聞けない有益なお話を伺い、大いに勉強になりました。

(福永嘉彦・滋子)

○近年同窓会の席上での最大の話は健康です。病気の話をする、必ず誰かが自分の経験を語ります。そんな年頃かと思ひながらいつの間にか自分も何かしらしゃべっています。

腎臓移植のお話、大変身近な話題で、興味深く聞かせて頂きました。有難うございました。

(藤原 正巳)

○中村ドクターの解説、大変わかりやすく勉強になりました。臓器について少々理解ができました。

(松浦 孝次)

○腎臓移植のお話、有難うございました。腎臓が悪くならないため、塩分に気をつけたいと思います。今日は幸枝さん、千春さんと一緒に松田さんの作品を見に行ってきました。素晴らしかったです。

(松浦 和子)

○中村メンの腎臓移植のお話、大変興味深かったです。我が腎臓をいたわる心配りを極力したいものです。

(三浦 直之)

○今年の西日本区は滋賀県長浜で開催されます。毎年この大会に出席するため、日本の中でも普段は余り行けない様な所に旅をし、楽しい思い出を作ることができ、ワイズならではの喜びを味わっています。

(山田 孝彦)

○中村隆幸さんの素晴らしい卓話に感謝して

(山中 秀男)

○坂本様、メネット会でお世話になりました。高橋様、メネット会でメネットを駅まで送って頂き、有難うございました。ドクター中村、体の仕組みよくわかりました。

(山中 ちあき)

後 記

キックオフミーティングで、岡本剛介次期会長を中心に作成された運営方針は、若手の意気込みが感じられ、センテニアルの明るい未来を予感させるものでした。六甲では、10年前の20周年の時のアメリカンキャンプが、またその時の鈴木健介さんの英語スピーチが思い出されます。ちょうどタイミングよく、前日にアメリカンスクールから、この6月1日で14年目を迎えたというメッセージが届きました。これは私たちのクラブへの30周年へのはなむけのメッセージと私は受け取りました。

(中村 茂高)